

第7号

令和2年10月1日

印刷 社会福祉法人コロニー印刷

こうせい KUMAMOTO

編集・発行

更生保護法人
熊本県更生保護協会

特定非営利活動法人
熊本県就労支援事業者機構

(題字は米満弘之理事長・会長の筆によるものです。)

第70回 社会を明るくする運動

今年の社会を明るくする運動は新型コロナウイルスの影響で、活動の規模や内容が縮小されました。その中で行われた「総理大臣及び県知事のメッセージ伝達式」と「熊本市役所1階ロビーにおける広報」を写真で紹介します。

総理大臣メッセージ伝達

松本保護観察所長（右）から大西熊本市長へ



県知事メッセージ伝達

吉田熊本中央地区保護司会長（右）から大西熊本市長へ



熊本市役所1階ロビーにおける広報（展示）



7月の熊本豪雨災害

— 県更生保護女性連盟が現地を訪問して会員をお見舞い —

7月4日未明に球磨川の氾濫による被害を中心とした豪雨災害、近隣地域の更生保護関係者は生命に関わる被害はなかったものの、多くの方々が住宅の浸水などの被害を受けました。

熊本県更生保護女性連盟では会長・副会長3名が被害にあった会員宅10軒をそれぞれ訪問してお見舞いし、支援物資を手渡しました。



専妙寺（渋谷会長宅）の被災状況



浸水した専妙寺



渋谷会長へ支援物資をとどける

8月4日立川会長、金澤、江田副会長3名で、更女会芦北地区会長の渋谷さん宅を訪問し支援物資を届ける。ほかにも芦北地区の被災された会員さん10軒にもそれぞれ支援物資を届けた。

謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます。この度の令和2年7月豪雨により被害を受けられた会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。特に芦北更女会員の方々は甚大な被害を受けられました。突然の災害に恐怖と不安の中、支援物資をお届けにまいりました。

惨状を目の当りにした時、お慰めする言葉もありませんでした。何のお力にもなれない無力感で心が痛みました。一日も早く平穏な日々が訪れますことを心から祈っております。

くれぐれもご無理なされないように、おからだをご自愛下さいますようお願い申し上げます。

熊本県更生保護女性連盟 会長 立川 和代

熊本保護観察所長もお見舞いに

7月豪雨で特に大きな被害を受けた保護司会（人吉、八代、芦北）に対して、保護観察所職員一同からお見舞いをする事になり、8月6日松本保護観察所長と高尾企画調整課長が人吉地区更生保護サポートセンター（錦町）を慰問されました。同センターでは人吉地区保護司会の瀬崎会長ほか5名の保護司が集まり、被害状況について説明がありました。

八代地区と芦北地区については9月4日保護観察所で開催された会議の際に、両地区保護司会長にお見舞金が渡されました。

被災された方々の復旧・復興が一日も早く実現することを心から願っています。

熊本県更生保護協会役職員名簿

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
理事長	米満 弘之	理事	岩下 博明	理事	古荘 貴敏
副理事長	藤森 純也	理事	浅山 弘康	理事	岩上 梨可
副理事長	中山 峰男	理事	下山史一郎	理事	川崎 博
副理事長	岩田 英志	理事	上村 宏洙	理事	月田 潔孝
常務理事	坂崎 徹	理事	目黒 純一	理事	杉光 定則
常務理事	若本 隆治	理事	黒木 康之	監事	蜂屋 敏光
理事	主海偉佐雄	理事	増田 毅	監事	栗谷 利夫
理事	田上 洋行	理事	野原 眞藏	事務局長	高橋 義治
理事	福永 力三	理事	立川 和代		
理事	竹下 英	理事	白瀬貴美子		

熊本自営会役職員名簿

役職名	氏名
理事長	黒木 康之
副理事長	緒方 孝雄
副理事長	鷺山 啓
常務理事	松山 良二
施設長	岩崎 健朗

熊本県更生保護女性連盟役職員名簿

役職名	氏名
会長	立川 和代
副会長	金澤 順子
副会長	江田 宣子
会計	川上八重子
会計	村上 緑
書記	田中久美子

熊本県保護司会連合会役職員名簿

役職	氏名	保護司会	役職	氏名	保護司会	役職	氏名	保護司会
会長	藤森 純也	山鹿	理事	旭 啓之	宇城	理事	坂本 幹彦	天草
顧問	主海偉佐雄	前連合会長	理事	西川 英文	玉名	理事	武藤由美子	菊池
副会長	吉田 精華	熊本中央	理事	西浦勘三郎	荒尾	理事	小柳 高子	熊本北
副会長	中山 哲行	八代	理事	森 隆博	菊池	監事	井上 康則	熊本南
常務理事	多田隈純子	熊本東	理事	児玉 政俊	阿蘇	監事	板垣 敏彦	熊本中央
理事	前村 齊	熊本西	理事	眞野 円理	上益城	事務局長	小島 徳雄	
理事	鷺山 恵水	熊本南	理事	黒田 宏信	芦北			
理事	秋吉 展明	熊本北	理事	瀬崎 哲弘	人吉			

熊本県就労支援事業者機構役職員名簿

役職	氏名	役職	氏名
会長	米満 弘之	理事	與縄 義昭
副会長	藤森 純也	理事	林 茂
理事	久我 彰登	理事	若本 隆治
理事	浅山 弘康	監事	主海偉佐雄
理事	笠 愛一郎	監事	田上 洋行
理事	福永 力三	事務局長	赤星 裕

NPO法人熊本どんぐり活動状況

代表理事 松永佳子

熊本どんぐりは平成25年11月に設立され、主に男性の刑余者やホームレスの方の社会復帰を支援するための自立準備ホームとして活動を行い、さらに平成27年からは様々な困難を抱える女性たちの支援も並行して行ってまいりました（現在は女性支援に主軸を移す）。

居室は8室あり、家具家電を完備したアパートタイプ(1K)となっており、プライベートな空間を保ちつつ個別に支援を受けることが可能です。

利用者それぞれのニーズに合わせ、食事提供、健康管理、病院受診の予約、同行支援や行政機関等の手続きの調整や同行支援を行いながら、民間アパートや障がい者向けのグループホームなどへ転居手続きを行い、地域で安定して生活できるまで寄り添っています。

彼女たちを支援する中で、世間の女性刑余者に向けられる偏見や差別を感じる事が日々あります。社会に戻っても生きづらさを感じる彼女たちの居場所のひとつになっていけるようスタッフ一同支援を行っています。

また、熊本どんぐりは慢性的な活動費の不足により運営難が続いております。

皆様の更なる活動へのご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

TEL 096-245-6942 ✉ kumamotodonguri@outlook.jp



NPO法人でんでん虫の会活動状況

代表者 船本満幸

当団体は、一人暮らしをされている社会的弱者といわれる元野宿者、高齢者、障がい者、DV被害者などへの安否確認や相談活動を通じて孤立を防ぎ、社会参加や相互交流の機会を作りながら、人と人とのつながりや絆を深め、安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与することを目的とします。

当会設立のきっかけは、支援の結果アパート生活を開始した元ホームレスの死後2か月経ってからの発見という衝撃的な出来事から、なぜもっと早く助けを求めなかったのかを他の当事者にたずねたところ、支援されるだけの関係は重く我慢して迷惑をかけないようにするという心境に陥ることを知ったことからでした。だから孤独死をなくすためにも当会は支え合うことをモットーとして家族的な関係構築を基盤としています。また、でんでん虫の会の名前の由来は、「なんでんかんでん（なんでもかんでも）、いつでんどこでん（いつでもどこでも）、だれでんかれでん（だれでもかれでも）」であり、縦割りではなくひとり暮らしという横ぐしで間口を広くすることを大切にしています。

新型コロナウイルスの影響においては、熊本地震後のみなし仮設入居者支援団体一般社団法人minorityと連携して、民間シェルターの準備を進めてきました。住居支援、生活支援と合わせて迅速に関係機関につなぐ窓口となる伴走型支援によって精神的落ち込みを軽減し自殺防止にも貢献したいと考えて活動しております。緊急事態宣言に基づき4/21に熊本県にも遊興施設等への休業要請が出されて以来、職や宿泊場所を失った人たちが当会に支援を求めて来られています。沖縄、鹿児島、宮崎、山口など県外の方や、アメリカからの渡航者などもあります。いずれも熊本市のシェルター、アパート、車中、路上に住居中の方々です。

TEL 096-297-8116 ✉ info@denden64.org

令和元年度 更生保護法人 熊本県更生保護協会 会計報告

収支決算書

収入総額 11,468,803円 支出総額 12,382,600円 繰越金 △913,797円

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
助成金収入	2,800,000	2,406,000	一時保護事業費 (金品給与)	1,400,000	1,077,200
篤志者寄附金	1,400,000	889,000	連絡助成事業費	9,715,000	9,556,688
役員等寄附金	1,600,000	1,695,000	事務費 (給料手当外)	3,035,000	2,956,983
財産収入	10,000	4,803	啓発費 (社明推進費外)	600,000	635,473
会費収入	7,100,000	6,385,000	連絡調整費 (機関誌発行外)	940,000	590,532
雑収入	10,000	89,000	助成費 (地区保護司会等への助成)	5,140,000	5,373,700
			管理費	1,804,000	1,748,712
			予備費	1,000	0
合計	12,920,000	11,468,803	合計	12,920,000	12,382,600

熊本県更生保護協会 令和元年度事業成績報告書

1 運営に関する事項

- (1)収入に関しては、地震の影響が残っていると考えられ、企業等からの寄附金収入が思うように得られず、当初の収入見込み額を大きく下回った。
 (2)収入が減少したため、管理費など支出を抑えた運営に努めたが、連絡助成事業は当初の事業計画どおり実施したため、支出総額は12,382,600円となり、損金が913,797円となった。

2 犯罪予防及び更生保護思想の普及宣伝に関する事項

- (1)機関紙『くまもと更生保護』を年2回、同『こうせい』を年1回発行したほか更生保護カレンダーを関係機関・団体に配布した。
 (2)熊本県社会復帰支援ネットワーク協議会の事務局として、20数箇所の機関・団体に呼びかけて協議会を2回開催した。

3 連絡助成事業に関する事項

県保護司会連合会及び各地区保護司会組織等の更生保護関係団体に対する助成

4 一時保護事業に関する事項

要保護対象者に対して、その更生を援助するために必要な食事代や交通費などの金品給与36件の助成を行った。

令和元年度 NPO法人 熊本県就労支援事業者機構 会計報告

活動計算書

収益総額 3,688,024円 費用総額 3,197,482円 繰越金 490,542円

収益の部			費用の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
受取助成金	2,100,000	2,775,000	事業費	1,938,000	2,163,807
受取会費	500,000	505,000	奨励事業費	150,000	253,488
その他収益	408,000	408,024	開拓事業費	840,000	840,000
			研修等事業費	20,000	30,000
			整備事業費	340,000	367,119
			広報啓発事業費	180,000	265,200
			人件費	408,000	408,000
			管理費	1,070,000	1,033,675
合計	3,008,000	3,688,024	合計	3,008,000	3,197,482

熊本県就労支援事業者機構 令和元年度事業報告書

1 運営に関する事項

- (1)今年度の収入は、会費、助成金等収入により3,688,024円(前年度繰越金を含まず)であった。前年度(4,295,986円)対比で607,962円収入が減少した。
 (2)支出は、雇用協力事業者奨励事業、雇用協力事業者開拓事業、雇用協力事業者研修事業、犯罪者等就労環境整備事業、広報啓発事業、管理費等3,197,482円であった。

2 事業実施に関する事項

- (1)雇用された犯罪者等の円滑な就労・定着を促進するため、資格取得にかかる費用助成や、入れ墨除去手術に対する費用助成を行った。
 (2)令和2年1月、熊本機能病院地域交流館市民塾ホールにおいて、「禁煙講習会」を開催した。
 (3)犯罪者等が出所した後の就労をより容易にするために、「パソコン研修」を昨年度に引き続き開催した。

おしらせ

菊池地区更生保護サポートセンターの移転について（もとに戻りました）

〒861-1205

菊池市泗水町福本383 菊池市役所泗水支所内

Tel, Fax 0968-38-5600

資格取得（原付免許証取得等）及び入れ墨除去手術に対する補助金制度のお知らせ

助成金額 30,000円を限度とします。（資格所得費用、入れ墨除去の医療行為のみの助成で交通費等は除きます）

助成対象者 保護観察中の人か観察期間終了後3年以内の人に限りです。

申込方法 観察所、協力雇用主、保護司、熊本自営会、自立準備ホームを通じて事前審査申込書を熊本県就労支援事業者機構に提出して下さい。
申込み内容を検討のうえ連絡します。

お問合せ 熊本県就労支援事業者機構 電話 096-288-4375

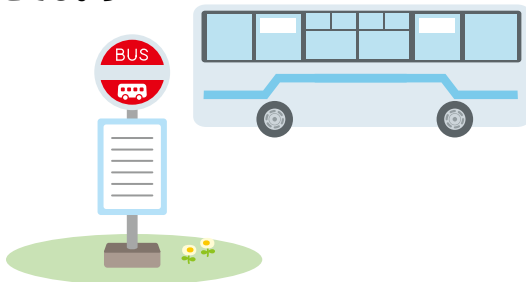
今世紀最大のクイズ



問題1 暗号解読のクイズです。「？」は何でしょう

★◎「ナミ」 ☆◎「カレ」 ★♪「チュウ」 ☆♪「？」

問題2 バス停にバスが着きました。さてこのバスは次の停留所をめざして右・左どちらの方向へ進むのでしょうか？ お答えください！なぜでしょう？



（回答は熊本県更生保護協会のホームページをご覧ください。）

編集後記

「こうせい」第7号をお届けします。
今年には新型コロナウイルスとの長い闘いが続く中、7月には熊本豪雨災害、9月には特大型台風10号による被害など、自然の怖さを実感させられる年でした。
「新しい生活様式」という言葉が生まれ、まさに日々の生活の変容が求められています。
Withコロナを受容しながら、新しい生活様式を模索していきましょう。

ホームページ開設のお知らせ

URL kumamoto.koseihogo.org

URL kuma.syuroshien.koseihogo.org

熊本県更生保護協会

検索

熊本県就労支援事業者機構

検索

Mail info@koseihogo.org（協会・機構共通で使用できます）